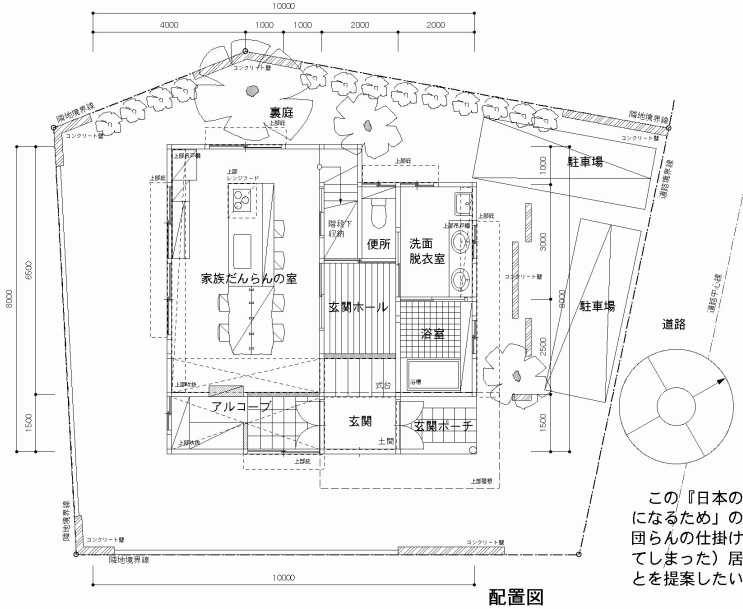
提言・『日本の家』

＝人と人との関わりのなかで＝



配置図
1階平面図
S=1/100

☆設計主旨☆

個人の在り方（個性）がクローズアップされ『自分らしさ』を表現することが当たり前の時代になって久しい。

家族でさえ個人の集まりになってしまったのはいつだろう？家族みんなが同じ家の中に生活しているのだけれどそれぞれ（特に子供たち）が自分の部屋（個室）にこもり好きなこと？ややりたいことを自由にすることを許してしまう間取りの家ばかりになってしまったのだ。

家族の絆［きずな］や人それぞれの関わりが希薄になりがちなこんな時代だからこそ『人と人とが関わる』のに必要な仕掛けが家（住宅）には求められている。

この『日本の家』では家族それぞれが合理的に「ひとりになるため」の個室の概念と「みんなになるため」の家族団らんの仕掛けとしてその機能が希薄になった（希薄にしてしまった）居間（＝リビング）の概念を変えてしまうことを提案したい。

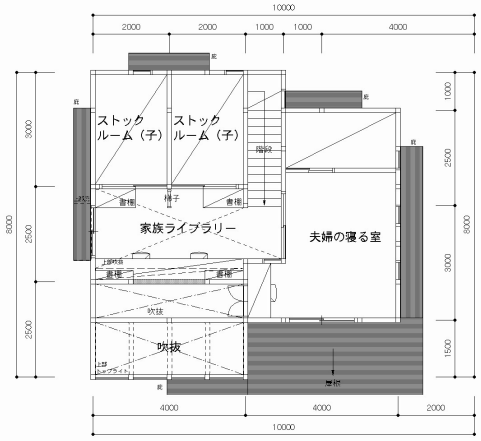
家族それぞれ（特に子供たち）にしっかりした個室が設えられていたからこそ、これまでは居間（＝リビング）に家族の団らんの場としての大きな期待が掛けられていた。ところが家族の成長と共に両親と子供たちとの団らんの機会も少なくなって、顔を合わせることができるのは食事の時間だけ、しかも夕食の時間だけというのも珍しくない。

現在の『普通の間取り』の家は、家族の暮らしの変化に付いて行けずに、家族同士が関わる時間を劇的に減らしてしまったのだ。こうして家族の関わりが希薄になるにつれて、地域との関わりも希薄になっている。

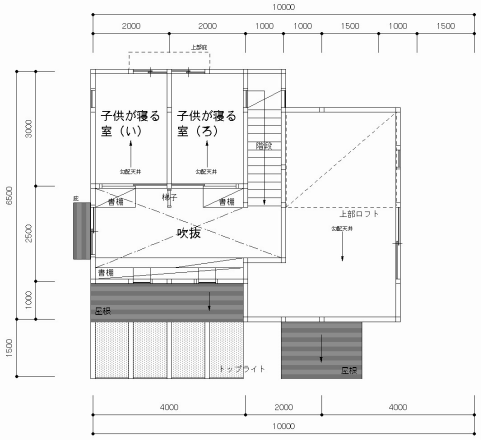
この『日本の家』では、家族それぞれが心地よく『個』になれる室（個・部屋）をつくり、それぞれが気ままに、好きな事をするために集う『ライブラリー』。そして家族の食事を主体とした団らんをするために集い語らう『家族だんらんの室』を用意した。

食事の場を団らんの中心に据えて、食事の前後の時間を有意義にくつろげる仕掛けとして家族がお互いの「距離」とりがら何かをしたり、特に母親の近くで本を読んだり宿題をしたりしがちな学年期の子供たちには特別な居場所になる。

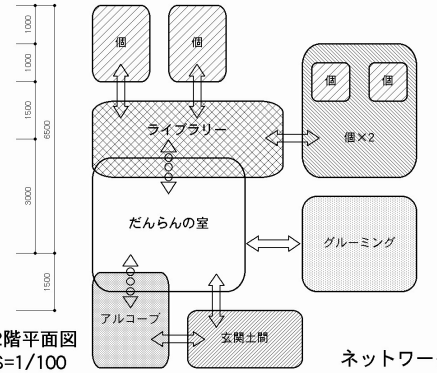
家族みんなが絆［きずな］を確かめ合い心地よい関わりが持てる空間になるだろう。そして、この空間につなげて用意したコーナー『アルコーブ』は玄関土間と併せて地域の交流の場を提供してくれるだろう。



中2階平面図
S=1/100



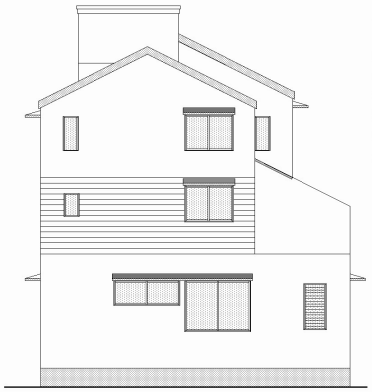
2階平面図
S=1/100



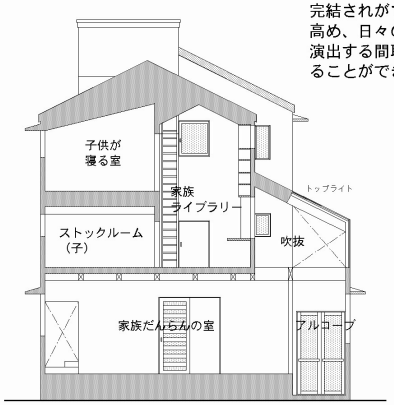
ネットワーク図

☆ネットワーク☆
『個』を有機的につなげる家族ライブラリーとそれと空間的につながる家族だんらんの部屋、そしてアルコーブと玄関土間。そのどれもがこれからの山梨の木造の家が持っている自然と関わる無限の可能性を広げていくだろう。これは始まったばかりの二十一世紀に相応しい住まい方＝ライフスタイルの創造に他ならない。

南立面図　S=1/100



西立面図　S=1/100



西断面図　S=1/100

☆ある家族のある日の様子☆

「ただいまあ！」いつもより元気な声と一緒に娘の香子が帰って来た。何か特別楽しいことがあったらしい。いつの間にか自分の居場所にしてしまった大きな食卓（この家では親しみを込めて『ビッグダン』と呼んでいる）で日課になった「カタログペーパーショッピング」をしていた母親の恵穂がいつものような笑顔で娘を迎えた。（ペーパーショッピングはカタログのウインドウショッピング版で日頃「家計が・・・。」を口癖にしている彼女の得意技だ。）

香子は自分の鞄をビッグダンに投げ出していつものように今日の出来事をしゃべり出した。話し出したら止まらない。

その声を聞いて弟の桂斗がお気に入りの二階のライブラリーから降りて来た（光と風が心地いいらしい）。吹抜に向かって開いている窓から二人の会話が聞こえたらしく「お姉ちゃんはいつもよくしゃべるなあ。」と感心顔をしている。香子はそんなことはお構いなくまだしゃべり続けている。恵穂はこんな時間が好きだ。

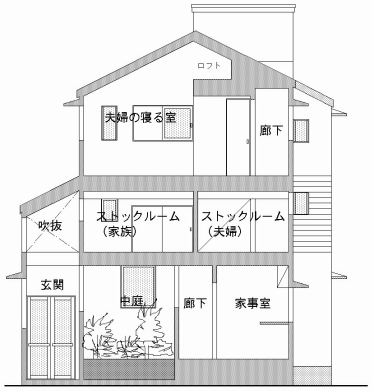
香子のおしゃべりが終わりそうなころ近所のおばちゃんが玄関の土間を通ってアルコーブ（ニックネームは『ホットカーブ』暖かい洞穴という意味らしい。）この場所は近所でも評判で、親しい近所のおばちゃんたちの寄っちゃい所になっている。靴をぬかない気軽さがいいらしくちょっと寄って直ぐに帰れる（とは言っても小一時間は長居するひとばかりだが・・・。）ところが気に入るらしい。

そんな家に住んでいる家族とその家族に関わる人はみな元気で、この家が取り持つ絆［きずな］に感謝している・・・。

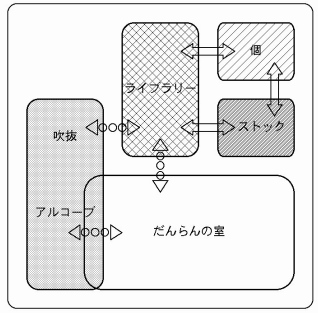
☆セクションネットワークから☆

木造軸組在来工法の長所を最大限に活かし、二次元で完結されがちな住まいの間取りの発想を三次元にまでに高め、日々の暮らしに潤いと楽しみを与える『空間』を演出する間取りで人と人が関わる『住まい方』を創造することができる『日本の家』です。

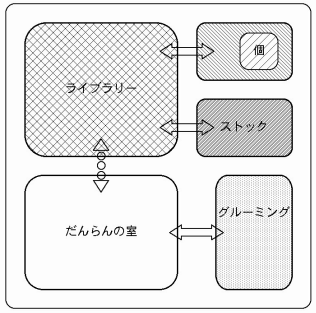
東立面図　S=1/100



東断面図　S=1/100



セクションネットワーク図（南北）



セクションネットワーク図（東西）

◎家族でさえ『個』になりがちな社会の流れに一石を投じる『住まい方の創造＝住まいづくり』のきっかけになることを願って◎